

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年10月1日～令和3年10月30日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
1	JIS	制定		未加硫ゴム—加硫特性の求め方—第1部：通則	Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 1: Introduction	この規格は、振動式加硫試験機を用いて、配合ゴムの加硫過程の物理特性を求める方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 基本原理 5 加硫試験機の種類 6 試験装置 7 試験片 8 試験温度 9 試料の状態調節 10 試験方法 11 試験結果のまとめ方	JIS K 6300-2	ISO 6502-1:2018, Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 1: Introduction(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会 一般財団法人日本規格協会
2	JIS	制定		未加硫ゴム—加硫特性の求め方—第2部：ねじり振動式ディスク加硫試験機	Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 2: Oscillating disc curemeter	この規格は、ねじり振動式加硫試験機を用いて、配合ゴムの加硫過程の物理特性を求める方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 原理 5 試験装置 6 試験装置の校正 7 試験片 8 試験条件 9 試料の状態調節 10 試験方法 11 試験結果のまとめ方 12 試験報告書 附属書A(規定)試験装置の校正	JIS K 6300-2	ISO 6502-2:2018, Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 2: Oscillating disc curemeter(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会 一般財団法人日本規格協会
3	JIS	制定		未加硫ゴム—加硫特性の求め方—第3部：ロータレス(ダイ)加硫試験機	Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 3: Rotorless curemeter	この規格は、振動式加硫試験機を用いて、配合ゴムの加硫過程の物理特性を求める方法について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 原理 5 試験装置 6 試験装置の校正 7 試験片 8 試験条件 9 試料の状態調節 10 試験方法 11 試験結果のまとめ方 12 試験精度 13 試験報告書 附属書A(規定)試験装置の校正	JIS K 6300-2	ISO 6502-3:2018, Rubber — Measurement of vulcanization characteristics using curemeters — Part 3: Rotorless curemeter(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会 一般財団法人日本規格協会
4	JIS	制定		外棧枠組箱の構造	Construction of outer framed wooden boxes for packing	この規格は、内容品質量10 t以下で、外のり寸法が、長さ8.0m、幅3.3 m、高さ3.3m以下の、輸送コンテナ内に収容される貨物又は同等の外力が想定できる輸送包装用に用いる枠組箱で、支柱及びその他の棧に相当する枠組部材を外側から取り付け付けた枠組箱の構造について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 種類及び設計要素 5 構造及び寸法 6 材料 7 組立方法			日本梱包工業組合連合会 一般財団法人日本規格協会
5	JIS	制定		X線CT装置におけるサイズ対応CT線量(SSDE)の計算方法	Methods for calculating size specific dose estimates (SSDE) for computed tomography	この規格は、SSDE、SSDE(z)、水等価直径(DW)、及びDW(z)の計算、表示、又は記録のために標準化した方法及び要求事項について規定する。	主な規定項目は、次のとおり。 1 適用範囲 2 引用規格 3 用語及び定義 4 DW(z)を算出するために用いる方法の検証 5 要求事項及び制限 附属書A(規定) SSDE 変換係数 附属書B(規定) 附属書文でのSSDE方法論の一般的な制限に関する文言		IEC 62985:2019, Methods for calculating size specific dose estimates (SSDE) for computed tomography(IDT)	一般社団法人日本画像医療システム工業会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年10月1日～令和3年10月30日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者
6	JIS	改正	B1456	ローラチェーン軸継手	Roller chain shaft coupling	この規格は、一般の機械に用いるローラチェーン軸継手について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 1 用語及び定義：関連規格との整合を図り、追加・修正を行う。 2 量記号：関連規格との整合のため、追加・修正を行う。 3 形状、寸法及び構造：市場の実態に合わせて、形状・寸法等を見直す。 4 材料：市場の実態に合わせて、材料を見直す。 5 製品の呼び方：市場の実態に合わせて、製品の呼び方を見直す。 6 解説内容の一部（偏心・偏角、予備・許容トルク形状・寸法・構造などに関する事項）を、 使用者の便宜のため本体への移行し規定とする。 7 その他：項目の並び・順番等の全体的な変更、など。			日本チェーン工業会 一般財団法人日本規格協会
7	JIS	改正	B8357	油圧用圧力補償付流量調整弁－取付面及び取付寸法	Hydraulic fluid power --- Compensated flow-control valves --- Mounting surfaces	この規格は、一般機械に用いられる圧力補償付流量調整弁のうち、ガスケット取付形のものについて、その取付面及び取付寸法を規定する。	主な改正項目は、次のとおり。 a) 利用者が理解し易いように、寸法の分類を「呼び」から「識別コード」に変更した。 b) 利用者が理解し易いように、ポート記号の分類を「呼び」から「識別コード」に変更した。 c) バルブ図記号を対応国際規格と整合するように変更した。		ISO 6263:2013, Hydraulic fluid power --- Compensated flow-control valves --- Mounting surfaces(MOD)	一般社団法人日本フルードパワー工業会 一般財団法人日本規格協会
8	JIS	改正	C3606	高圧架橋ポリエチレンケーブル	High-voltage cross-linked polyethylene insulated cables	この規格は、6 600 V以下の電力用の回路に使用する電力ケーブルで、導体を架橋ポリエチレンで絶縁し、塩化ビニル樹脂を主体としたコンパウンド、ポリエチレン又はポリエチレン樹脂を主体とした耐燃性コンパウンドでシースを施した架橋ポリエチレンケーブルについて規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・ 定量方法の区分において、JIS H 1292(銅合金の蛍光X線分析方法)との整合を図るため、電解重量法(硝酸・硫酸法)及び電解重量法(硝酸・ふっ化水素酸・ほう酸法)の定量範囲の下限値を54.0%から50.0%に改める。また、“定量方法及び対象合金番号又は記号”の表について、最新の製品規格に整合させ、合金番号を追加又は変更する。 ・ 試薬において、国際標準とのトレーサビリティを確保するため、銅の標準液として、JCSS品などを追加する。 ・ 銅電解重量法(硝酸・硫酸法)の操作及び銅電解重量法(硝酸・ふっ化水素酸・ほう酸法)の操作において、ひょう量に用いるはかりについて、市場の実態を反映して電子はかりの使用を可能とするため、“化学はかり”から“精密はかり又は精密化学はかり”に改める。		IEC 60502-2:2014 Power cables with extruded insulation and their accessories for rated voltages from 1kV(Um=1.2kV) up to 30kV(Um=36kV) - Part 2 : Cables for rated voltages from 6kV(Um=7.2kV) up to 30kV(36kV)(MOD)	一般社団法人日本電線工業会 一般財団法人日本規格協会
9	JIS	改正	H1051	銅及び銅合金中の銅定量方法	Copper and copper alloys-Determination of copper content	この規格は、銅及び銅合金中の銅定量方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 ・ 定量方法の区分において、JIS H 1292(銅合金の蛍光X線分析方法)との整合を図るため、電解重量法(硝酸・硫酸法)及び電解重量法(硝酸・ふっ化水素酸・ほう酸法)の定量範囲の下限値を54.0%から50.0%に改める。また、“定量方法及び対象合金番号又は記号”の表について、最新の製品規格に整合させ、合金番号を追加又は変更する。 ・ 試薬において、国際標準とのトレーサビリティを確保するため、銅の標準液として、JCSS品などを追加する。 ・ 銅電解重量法(硝酸・硫酸法)の操作及び銅電解重量法(硝酸・ふっ化水素酸・ほう酸法)の操作において、ひょう量に用いるはかりについて、市場の実態を反映して電子はかりの使用を可能とするため、“化学はかり”から“精密はかり又は精密化学はかり”に改める。		ISO 1554:1976 Wrought and cast copper alloys - Determination of copper content - Electrolytic method(MOD)	一般社団法人日本伸銅協会 一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年10月1日～令和3年10月30日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
10	JIS	改正	H4000	アルミニウム及びアルミニウム合金の板及び条	Aluminium and aluminium alloy sheets, strips and plates	この規格は、圧延したアルミニウム及びアルミニウム合金の板、条、厚板、合せ板及び円板について規定する。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <p>1. 飲料缶用材料の薄肉化・高強度化を達成し、“Reduce”による環境負荷低減を図るため、次の各項目に飲料缶用の2種類の合金(3004A及び3204)に関する要求事項を追加する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・合金番号、等級及び記号</li> <li>・化学成分</li> <li>・板、条、厚板及び円板の機械的性質</li> <li>・寸法及びその許容差</li> <li>・試験</li> </ul> <p>2. “応力腐食割れ性”及び“剥離腐食性”について、市場の実態に対応して、要求事項等を明確にするため、品質及び試験の項目に追加し具体的に規定する。</p>		ISO 209:2007, Aluminium and aluminium alloys—Chemical composition ISO 6361-1:2011, Wrought aluminium and aluminium alloys—Sheets, strips and plates—Part 1: Technical conditions for inspection and delivery ISO 6361-2:2014, Wrought aluminium and aluminium alloys—Sheets, strips and plates—Part 2: Mechanical properties ISO 6361-3:2014, Wrought aluminium and aluminium alloys—Sheets, strips and plates—Part 3: Strips: Tolerances on shape and dimensions ISO 6361-4:2014, Wrought aluminium and aluminium alloys—Sheets, strips and plates—Part 4: Sheets and plates—Tolerances on shape and dimensions ISO 6361-5:2011, Wrought aluminium and aluminium alloys—Sheets, strips and plates—Part 5: Chemical composition (MOD)	一般社団法人日本アルミニウム協会	一般財団法人日本規格協会
11	JIS	改正	K6395	合成ゴム—EPDM—試験方法	Rubber, ethylene-propylene-diene (EPDM) — Evaluation procedure	この規格は、エチレン・プロピレン・ジエン系ゴムの原料ゴムの物理試験方法及び化学試験方法並びに標準配合の混練方法、加硫特性試験方法及び引張試験方法について規定する。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・引用規格(箇条2):ISO 3417の廃止に伴う、整理。</li> <li>・標準配合(箇条5)を次のように変更(TMTDの使用停止)。 加硫促進剤 TMTD 1.00phr→CBS 3.5phr, MBT 0.5phr→1.0phr</li> <li>・附属書JA：評価配合変更に伴い、ISO 4097の精度項へ変更。</li> <li>・参考文献：JIS K6220-2の附属書3が改正されたので、対応する形へ改正。</li> </ul>		ISO 4097:2020, Rubber, ethylene-propylene-diene (EPDM) — Evaluation procedure(MOD)	一般社団法人日本ゴム工業会	一般財団法人日本規格協会
12	JIS	改正	L0216	羽毛用語	Glossary of terms used in feathers.	この規格は、羽毛製品に使用される充填材料用羽毛に関する主な用語について規定する。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・“ダウン”の定義を適切にするため、定義文にある、羽枝の本数を“2本”から“3本”に改め、“長さが3mm以上のもの”を追加する。</li> <li>・“ファイバー”の定義文に、“3mm以下の短いものは除く”を追加する。</li> <li>・“損傷フェザー”の定義文を“3分の1以上損傷したもの”とし、損傷の割合を明確にする。</li> <li>・JIS L 1903(羽毛試験方法)に用いている、“陸鳥ファイバー”などの用語を追加する。</li> </ul>			日本羽毛製品協同組合	一般財団法人日本規格協会
13	JIS	改正	L1903	羽毛試験方法	Testing methods for feathers	この規格は、羽毛製品に用いられる充填材料用羽毛の試験方法について規定する。	<p>主な改正点は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・組成成分の分類の表をJIS L 0216の定義に合わせるとともに、参照する写真もこれらに合わせて改める。</li> </ul>			日本羽毛製品協同組合	一般財団法人日本規格協会

JIS原案等パブリックコメント実施リスト

注記

- 1: 意見及び異議受付期間は、令和3年10月1日～令和3年10月30日
- 2: 区分aは、JIS規格原案又はTS原案若しくはTR原案の別を記載
- 3: 区分bは、制定、改正の別を記載
- 4: 対応国際規格は、対応国際規格が判明している場合に記載

No	区分a	区分b	JIS規格番号等	JIS規格原案等の名称	JIS規格原案等の英文名称	JIS規格原案等の適用範囲	規定項目又は改正点	制定・改正に伴う廃止JIS	対応する国際規格番号及び名称	原案作成者	
14	JIS	改正	Z4952	磁気共鳴画像診断装置—第1部：基本画質パラメータの決定方法	Magnetic resonance equipment for medical imaging—Part 1: Determination of essential image quality parameters	この規格は、MR装置の多くの重要な画質パラメータ決定のために必要な測定手順について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・取り扱う磁場強度を4Tから8Tへ拡大するため適用範囲を変更する</li> <li>・用語及び定義において、位相オーバーサンプリングの定義の追加、仕様容積を高周波コイル仕様容積とシステム仕様容積とに分割して新たに定義するなどの変更をする。</li> <li>・全ての手順に対する一般的要求事項として、各試験において共通な試験器具への要求事項を取りまとめて追加する。また、各試験において共通に、試験結果報告に含める必要がある情報に関する要求事項を取りまとめて追加する。</li> <li>・信号ノイズ比に関する測定方法において、受信コイルごとに負荷状態か又は無負荷状態かを選択できるように変更する。また、試験器具の大きさをRFコイルの大きさに合わせる要求を追加する。</li> <li>・均一性に関する測定方法において、高磁場でも評価できるように無負荷での測定につき追加する。</li> <li>・2次元撮像のスライス厚に関する測定方法において、推奨するRFコイルの条件を追加する。また、ACRFアントムを使用できるように試験器具のスラブの傾斜角度を変更する。</li> <li>・2次元幾何学的ひずみに関する測定方法及び空間分解能の測定方法において、推奨するRFコイルの条件を追加する。</li> <li>・全ての測定方法において、画像帯域幅を磁場強度ごとに臨床のシーケンスに合わせて変更可能とするなど撮像条件を変更する。</li> <li>・附属書（規定）において、均一性に関する測定方法の代替法として新たに“ACR法”を追加する。また、試験器具の幾何学的ひずみを測定するための代替法を新たに追加する。</li> </ul>		IEC 62464-1:2018, Magnetic resonance equipment for medical imaging—Part 1: Determination of essential image quality parameters(MOD)	一般社団法人日本画像医療システム工業会	一般財団法人日本規格協会
15	JIS	改正	Z8522	人間工学—人とシステムとのインタラクション—情報提示の原則	Ergonomics of human-system interaction – Principles for the presentation of information	この規格は、ユーザインタフェースで提示される情報に関するインタラクティブシステムのための人間工学的設計原則を規定する。	主な改正点は、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・規格名称を今回の改正内容に合わせ“人間工学—人とシステムとのインタラクション—情報提示の原則”に改める。</li> <li>・適用範囲において、現行の視覚に加え、聴覚、触覚のユーザインタフェースを適用範囲に追加する。</li> <li>・現行規格では、視覚情報を設計する際に考慮すべき「特性」を示しているが、内容の説明はなされていない。新しい規格ではこれらの特性を「原則」とし、その一つ一つを節として独立させ、その意味を具体的に説明する。</li> <li>・現行規格に記載のユーザインタフェースの詳細（箇条5から箇条7）は対応国際規格の記載からは削除されたため、この規格からも削除する。</li> </ul>		ISO 9241-112:2017, Ergonomics of human-system interaction – Part 112: Principles for the presentation of information(MOD)	一般社団法人日本人間工学会	一般財団法人日本規格協会
16	JIS	改正	Z9111	道路照明基準	Recommendation for roads lighting	この規格は、安全で円滑な道路交通に必要な照明の要求事項及び道路照明（ただし、トンネル照明は除く）の設計に必要な輝度及び照度の計算方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> <li>a) 道路の光環境性能の計算方法に関する内容に変更する。</li> <li>b) 計算方法及び計算方法が参照する基本データの更新を受け入れ可能な内容とする。</li> </ul>			一般社団法人照明学会	一般財団法人日本規格協会
17	JIS	改正	Z9116	トンネル照明基準	Recommendation for tunnels lighting	この規格は、安全で円滑な道路交通に必要な照明の要求事項、並びに道路トンネル（以下、トンネルという。）の設計に必要な輝度及び照度の計算方法について規定する。	主な改正点は、次のとおり <ul style="list-style-type: none"> <li>a) トンネルの光環境性能の計算方法に関する内容に変更する。</li> <li>b) 計算方法及び計算方法が参照する基本データの更新を受け入れ可能な内容とする。</li> </ul>			一般社団法人照明学会	一般財団法人日本規格協会